

# 『子どものスマホ 適切な利用推進プロジェクトチーム』の設置

本県では、青少年愛護条例に基づき、青少年の安全なネット利用に向け、家庭や学校でのルールづくり支援などを推進してきたが、コロナ禍で低年齢の子どもにもネット等の利用が進み、視力等への悪影響も懸念されている。

そこで、特に健康面に留意した安全・安心なスマホ・ネット利用を図るため、庁内横断のプロジェクトチームを設置し、過度なネット等の利用が子どもの健康に与える影響や対策を検討する。

## 1 構成員

医療関係 アドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸大学大学院医学研究科（外科系講座眼科学）</li> <li>・神戸大学大学院医学研究科（外科系講座整形外科学）</li> <li>・県立ひょうごこころの医療センター</li> <li>・県立リハビリテーション中央病院</li> <li>・子どものリハビリテーション・睡眠・発達医療センター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中村 誠 教授（眼科領域）</li> <li>黒田 良祐 教授（整形外科領域）</li> <li>田中 究 院長（ネット依存等精神科領域）</li> <li>菊池 清 センター長（小児睡眠障害領域）</li> </ul>
県構成員 〔リーダー：〕 県民生活部 木村次長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務部教育課（幼稚園・私立学校関連）</li> <li>・福祉部こども政策課（保育所・認定こども園関連）</li> <li>・県教育委員会事務局教育企画課（県・市町立学校関連）</li> <li>・県教育委員会事務局体育保健課（県・市町立学校関連）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民生活部男女青少年課（全体調整）</li> <li>・保健医療部健康増進課（健康医療関連）</li> <li>・県教育委員会事務局義務教育課（県・市町立学校関連）</li> <li>・公益財団法人兵庫県青少年本部（青少年事業関連）</li> </ul>

## 2 内容及び成果の活用

- (1) 過度なネット等の利用が子どもの健康に与える影響や防止策について、医療関係者の指導助言に基づき検討
- (2) 得られた知見や対策内容について、ガイドライン等を作成し、動画やネット広告による啓発を実施
- (3) その他、各部所の取組にも積極的に反映

## 3 プロジェクトチーム第1回会合

8月下旬以降で調整中

<p>問い合わせ先          県民生活部男女青少年課 青少年指導班          TEL:078-362-3142</p>
---

# (参考) 子どもの安全・安心なスマホ・ネット利用に向けた今後の展開

安全・安心なスマホ利用に向け、年齢層に合わせた幅広い取組を展開。特に健康面の対策やネットモラルに関する啓発を強化<強化>

## 効果的な啓発

④ 4年度新規

- 動画やターゲティング広告による啓発 [男女青少年課]  
SNS等を活用し、ネットに起因する犯罪被害やトラブル防止、過度なネット利用の抑制  
◎視力低下、睡眠への悪影響等、健康への影響やネットモラルに関する啓発動画を作成
- 家庭でのルールづくり支援 [男女青少年課]  
家庭の実情に応じたネットのルールをつくるためのワークシート等を提供
- 「ひょうごGIGAワークブック」の作成・配付 [県教育委員会]  
情報モラルを学ぶワークブックを作成し、小中高校生に配付

## 子ども自らが取り組むワークショップ・学習会の開催

- 「オフラインあそび塾」の実施 [男女青少年課]  
小学生以下の子どもと保護者を対象に、ネットゲームでは味わえない自然体験や仲間遊びの楽しさを提供。ネットモラル等入浴との上手な付き合い方講座も開催【8月〜】◎目の健康プログラム等を追加
- 「ネットトラブル防止ワークショップ」の実施 [男女青少年課]  
中高生が自ら利用対策を考えるワークショップ【10、12月】◎健康配慮もテーマに追加
- 「スマホサミット in ひょうご」の実施 [男女青少年課]  
ワークショップなど各事業の成果を発表する全県大会【12月】
- 「インターネット親子学習会」への支援 [青少年本部]  
団体等が開催するネットトラブル防止に向けた学習会を支援 ◎健康配慮もテーマに追加

## ネット依存対策

- ネット依存対策を行う体験活動への助成 [青少年本部]  
団体等が行うネット依存対策を含む宿泊型自然体験活動を支援（上限15万円・3カ所）
- 人とつながるオフラインキャンプの実施 [青少年本部]  
スマホやネットから離れ、自然体験活動を通じてネットの使い方を見直すキャンプを実施

## 実態把握・関係機関との連携

- ケータイ・スマホアンケート調査の実施 [男女青少年課]  
県内小中高生(約2万人)を対象に利用実態を調査
- 携帯電話事業者との連携会議の開催 [男女青少年課]  
フィルタリングの普及や依存対策など、青少年を保護する方策を協議
- ネットトラブル防止推進会議の開催 [男女青少年課] ◎健康配慮もテーマに追加  
県、県警、県教委、PTA等が連携し、ネットでの誹謗中傷を含むトラブル防止に向けた取組を推進【5、10、2月】

知見を現施策に反映

## 【新】健康面の対策

### ■子どものスマホ 適切な利用推進 プロジェクトチームによる検討

過度のネット利用が子どもの健康に与える影響やその防止策について、医療関係者等の意見も聞きながら検討

- ・ 視力や睡眠、姿勢など、健康面への影響やその対策の専門的知見を収集
- ・ 各年齢層における効果的な啓発内容や手法の検討
- ・ 安全なスマホ等との付き合い方を子どもが楽しく身につけることができるプログラムの開発 など

### ■低年齢層に向けた取組の実施

## 青少年愛護条例における規定

- 保護者の義務 (H21.7.1施行)
  - ・ 青少年が使用する端末設備の管理
  - ・ ネット利用に関する判断能力の育成
  - ・ 青少年が使用する携帯電話のフィルタリングの利用
- 携帯電話事業者の義務 (H21.7.1施行)  
青少年が使用する携帯電話の契約に際して、フィルタリングの内容等について説明
- 県内全ての人の義務 (H28.4.1施行)  
青少年のネット利用に関するルールづくりへの支援
- 県の施策 (H21.7.1施行)  
ネット利用に関する判断能力の育成を図るため、普及啓発、教育等の施策の推進に努める